※令和４年度以降入学生用

学校番号	T3005

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	歴史総合−２	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	わたしたちの歴史　日本から世界へ　改訂版（山川出版社）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

歴史総合は、日本の歴史と世界の歴史を関連付けながら学習する科目です。この授業では主として 20 世紀初期から現代までを取り扱います。歴史総合で大切なことは、日本と世界の歴史を比べたり、つながりや影響を考えたりすることです。これらを踏まえて学習し、現代日本や世界とのつながりや課題、そして未来について考えていきましょう。

評価は、学習状況の観察、授業プリント・ノート、課題、定期考査、振り返りシートで行います。

2　学習の到達目標

①学習を通して、世界の歴史と日本の歴史のつながりを理解し、近現代の歴史を学ぶための諸資料から、様々な情報を効果的に調べ、活用できる。
②近現代の歴史の変化や関連性、つながりなどについて考察し、歴史にみられる課題を把握し、解決に向けて構想したり、説明したり、議論したりする力を身につける。
③近現代の歴史にかかわる諸事象について、主体的に課題を追究し、解決しようとする態度を養い、日本や他国の歴史と文化を尊重することの大切さについて自覚を深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解している。 ・近現代の歴史について写真や地図、グラフやデータ、文献や絵画などの諸資料から有用な情報を適切に読み取り、様々な角度から捉え、効果的に活用することができる。	・世界の歴史と日本の歴史を関連付けて実証的、多面的、多角的、批判的に考察し、自らの考えを適切に説明、表現することができる。	・近現代の歴史を学ぶ意義に気づき、関心を高め、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、主体的に学習に取り組むことができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
後期	国際秩序の変化や大衆化と私たち	・世界恐慌 ・独裁勢力の台頭 ・日本のアジア侵出 ・第二次世界大戦 ・第二次世界大戦と日本 ・第二次世界大戦の終結 ・戦後国際秩序 ・冷戦の始まり ・日本の戦後改革と日本国憲法 ・日本の独立 ・いまの私たちにつながる課題	a:ファシズムや第二次世界大戦、戦後の国際秩序や冷戦について理解できており、写真や地図、グラフやデータを様々な角度から捉え、効果的に活用することができている。 b:ファシズム体制の特徴とスターリン支配下のソ連の共通点や相違点、第二次世界大戦やその前後の国際関係、戦時下の日本国民の生活や戦後の国際関係について考察し、表現できている。 c:ファシズム体制から日本の独立期までについて、自ら見通しをもって学習に取り組み、主体的に課題を解決しようとしている。	・授業プリント(ノート) ・課題 ・定期考査	・授業プリント(ノート) ・課題 ・定期考査	・授業プリント(ノート) ・課題 ・振り返りシート ・学習状況の観察
	グローバル化と私たち	・グローバル化への問い ・第三世界の登場 ・冷戦の固定化と「雪どけ」 ・冷戦の展開 ・55 年体制と安保闘争 ・高度経済成長の光と影 ・ベトナム戦争とアメリカ ・経済構造の変化 ・日本の経済大国化 ・考えてみよう！日本の政府開発援助 ・アジアの経済成長 ・社会主義の停滞と新自由主義 ・冷戦の終結 ・冷戦後の地域紛争 ・考えてみよう！国連平和維持活動 ・地域統合 ・現代世界の諸課題 ・日本の諸課題 ・いまの私たちにつながる課題	a:諸資料を利用して、第三世界の登場から現代までを学習し、それらがグローバル化の重要な側面であることを理解できている。 b:第三世界の登場から現代までを学習し、対立や協調など、平和や国際理解のために尽くした人々の行動などに着目して現代的な諸課題との関連を考察し、表現できている。 c:第三世界の登場から現代までを学習し、よりよい社会の実現を視野に、主体的に課題を解決しようとしている。	・授業プリント(ノート) ・課題 ・定期考査	・授業プリント(ノート) ・課題 ・定期考査	・授業プリント(ノート) ・課題 ・振り返りシート ・学習状況の観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度